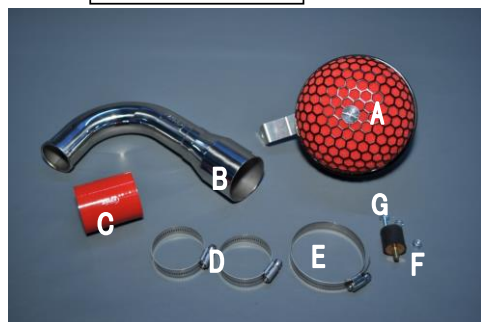


取付説明書

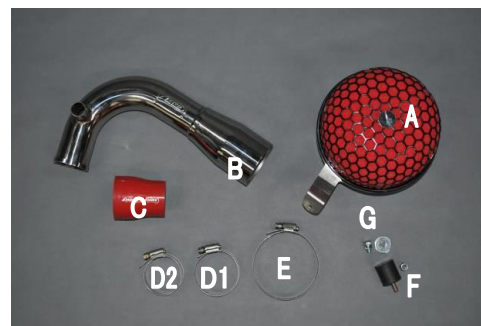
この度は、当社製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
取付前にこの取付説明書を必ずお読みいただき、正しい取付を実施して下さい。
ご不明な点がございましたら、ご購入頂いたショップにてご相談の上で作業を行って下さい。
（ご注意：説明書は、後期型の取り付け写真を使用しております）

付属部品



4RS-INOX-01S /後期型

A	エアクリーナー(ステー付)	A
B	サクションパイプ(本体)	B
C	ホース	C
D	バンド 小(ホース用)	D1 D2
E	バンド 大(クリーナー用)	E
F	マウントラバーボルト/ナット	F
G	六角ボルト(M6×10) ワッシャ(スプリング/平)	G

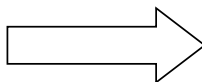


4RS-INOX-03 /前期型

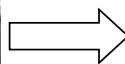
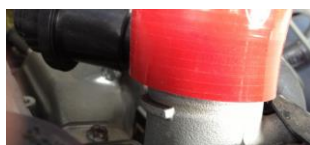
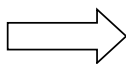
① 純正のエアクリーナーを外します。



前期型：フローバイパイプは取り外さないで下さい



② ホース（C）をエンジン側パイプに差し込み、バンド小（D）を緩めた状態でホース（C）に通しておきます。



後期型：ホース（C）は、エンジン側パイプのストッパー部分までしっかりと差し込んで下さい。

※ バンド小（D）の取り付け方向にご注意下さい。（写真参考）

③ マウントラバーボルト（F）を純正のエアクリーナーが固定されていた箇所に付けます。



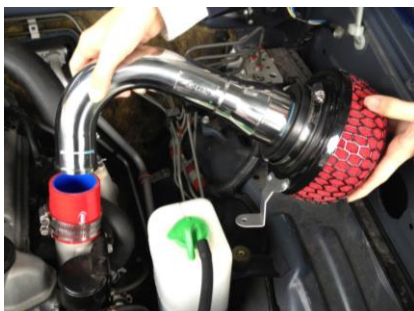
マウントラバーボルトを取り付けた後、ナットを下側からマウントラバーボルトに取付けます。マウントラバーボルトを固定しながら、ナットを締め付けます。

④ エアクリーナー（A）を、サクショパイプ（B）のマーキングラインを目安に差し込みます。

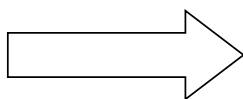


※ 差し込み深さは、約20mmです。

⑤ サクショパイプ（B）をエンジン側のホース（C）にのマーキングラインの位置まで差し込みます。



※ 差し込み深さは、約20mmです。
サクショパイプ（B）とエンジン側パイプとの間に振動を吸収する為に必要な隙間をとっています。
奥まで入れてしまうと、振動を吸収する効果がなくなり、破損もしくは不具合の恐れがあります。

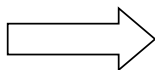


⑥ エアクリーナー（A）から出ているステーを、③で取付けたマウントラバーボルト（F）に六角ボルトとスプリング/平ワッシャー（G）を使用して仮固定します。



※ この時点では、本締めをしないで下さい。

⑦ ステーに負荷が掛からないよう、サクショパイプ（B）とエアクリーナー（A）の位置を調整して、バンド小（D）バンド大（E）、六角ボルト（G）を本締めします。



後期型

前期型（開発中写真）



前期型：純正のブローバイパイプをサクショパイプ(B)の差し込み部に取り付け、純正のバンドで固定して下さい。

⑧

全てのパーツの固定が終わりましたら、エンジンを始動させ取り付けに不具合が無いかを確認して下さい。

- エンジンルーム内のパーツやボディー、ボンネットへの干渉が無いかを確認して下さい。
- しばらく走行した後、取り付け部分の締め付けを確認し、必要に応じて増し締めをして下さい。
- 定期的に点検をし、ボルトなどの緩みがないか、パーツが破損していないかを確認して下さい。

エアークリーナーエレメントは消耗部品です。汚れが酷い場合は、洗浄又は交換をして下さい。

4輪

【より安全にご使用していただくために、必ずお読みください。】

- ご使用の前に必ずお読みください。取扱説明書は、製品を破棄されるまでお手元に保管してください。
- 取扱説明書に反した使用により損害が生じた場合、当社は賠償の責を負いません。
- 製品についてお気づきの点は、事前にご連絡ください。
- 重要保安部品の取扱いは、プロのメカニックにより認証工場等で行ってください。

警告

1. 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着は行わないでください。取り付けに不具合が生じ、製品の特性を損ないます。
2. 製品を分解、改造しないでください。製品の機能が損なわれ、故障等の原因となります。
3. 火傷等を未然に防ぐ為、作業はエンジンが完全に冷えた状態で行ってください。
4. 作業時は水平な場所で車体を安定させてから作業を行ってください。
5. パイプ等のエッジ部分は肉厚が薄い為、手などを切ったりすることがないように、軍手を装着し、注意して作業を行ってください。
6. キャブレターやエンジンを車両の諸元と変更されている場合は、各部のセッティングを行っていただく必要があります。
7. 取り付け前に必ず車種専用サービスマニュアルを用意して作業を行ってください。
8. 取り付け後、必ず各部の干渉等の問題がないことと、ボルト、ナットの締め忘れがないよう確認してください。
9. 取り付け後、走行距離100km到達時で一度ボルト、ナット類の緩みがないか点検し、必要があれば増し締めを行ってください。
10. レース専用パーツに関しては、装着後のクレーム、及び故障、事故について当社は一切の保証、責任を負いません。
11. 組み付け不良、メンテナンス不良、又は使用状況の誤りにより発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。
12. 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着により発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。

注意

1. エンジン始動中、及び停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。触れられますと火傷等の負傷を負う恐れがありますので、絶対に動物や人が触らない場所を選び保管管理してください。
2. エンジン始動中、及び始動後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。火災の原因となる為、絶対近くにガソリン等の危険物や燃えやすい布などは置かないでください。
3. エンジンを始動させる場合は、換気のよい場所で行ってください。排気ガスにより、一酸化中毒になる恐れがあります。
4. 各ボルト、ナットはサービスマニュアルに従い、指定トルクを厳守し、締め付けを行ってください。ボルト、ナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
5. 構造上、最低地上高が低くなる場合があります。転倒による死亡事故を防ぐ為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等でマフラーを接地しないようにしてください。
6. お客様による分解や修理・改造は危険ですので行わないでください。修理の際はお買上げの販売店又は当社にご連絡ください。
7. レース専用パーツに関しては、一般公道では使用しないでください。
8. 車両の点検、及びメンテナンスは定期的にお客様の責任において行ってください。